

製品名: 切断型カテプシン L1 HC (T288) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08977**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	CTSL1
別名	CTSL1; CTSL; Cathepsin L1; Major excreted protein; MEP
遺伝子 ID	1514.0
SwissProt ID	P07711
免疫原	抗血清はヒト CATL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 239-288

背景

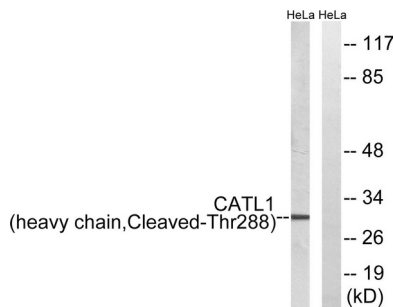
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内タンパク質分解において主要な役割を果たすリソソームシステインプロテアーゼです。その基質には、コラーゲン、エラスチン、そして好中球エラスターゼ活性の主要な制御因子である $\alpha 1$ プロテアーゼイン

ヒビターが含まれます。このタンパク質は、ミオパシーや心筋虚血における筋原線維壊死、そしてタンパク尿に対する尿細管反応など、いくつかの病理学的プロセスに関与していることが示唆されています。ペプチダーゼ C1 ファミリーに属するこのタンパク質は、単一のタンパク質前駆体からジスルフィド結合した重鎖と軽鎖からなる二量体です。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012 年 4 月]、触媒活性: パパインに近い特異性。カテプシン B と比較して、カテプシン L はタンパク質基質に対して高い活性を示すが、Z-Arg-Arg-NHMeC に対する活性は低く、ペプチジルジペプチダーゼ活性はない。機能: リソソームにおけるタンパク質の全体的な分解に重要である。類似性: ペプチダーゼ C1 ファミリーに属する。サブユニット: ジスルフィド結合によって連結された重鎖と軽鎖の二量体。

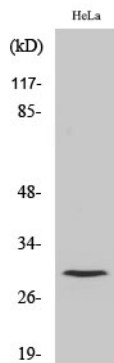
研究分野

リソソーム;抗原の処理と提示;

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した HeLa 細胞ライセートを、CATL1 (重鎖、切断型 Thr288) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



切断型カテプシン L1 HC (T288) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析